

高齢者がいつまでも活躍できる社会を目指す



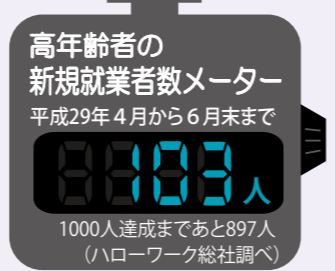
7月26日、井山宝福寺で行われた生涯現役セミナー

市生涯現役促進協議会では、高齢者の就労に関するセミナーを開催します。参加を希望する人は、協議会までお問い合わせください。その他のセミナーも順次開催を予定しています。今後も詳細は決まり次第、『広報そうじゃ』などでお知らせします。

問い合わせ 市生涯現役促進協議会（☎08376）

テーマ・内容	講師	日程	時間	場所
秋野菜栽培（座学）	J A岡山西職員	9/4（月）	13:30～15:30	J A岡山西吉備路支店 吉備路アグリセンター
果樹栽培（座学）		10/19（木）		
農業実習（キャベツ定植）	風早悟さん	9/14（木）	9:00～11:00	そうじゃ地食ベ公社
農業実習（キャベツ収穫）	（そうじゃ地食ベ公社）	11/16（木）		（ほ場）
外国人観光客誘致に向けた外国文化の知識	山口典子さん （ユナイテッド航空 CA）	10/5（木）		
【ライフプラン設計】 高齢者に係る年金問題・労務問題	押野りかさん （社会保険労務士）	10/26（木）	13:30～15:30	サンロード吉備路
総社の観光資源と魅力	佐野誠さん（観光協会）	11/9（木）		

就業目標は1000人



株式会社トングウに就職した河本 杜巳夫さん（70）

就業者の声

7月から、株式会社トングウに勤務し、小学校で食べ終わった給食のトレーを回収する仕事をしていました。車の運転が好きで、子どもと先生が温かく話しかけてくれるので、楽しく働いています。

これから勤務時間を徐々に増やしていきたいと思っています。そして、体が動く限りは生涯現役で働き続けたいです。

せっかく働くなら、チャレンジ精神をもち、ぶつかるのが良いと思います。

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



投票体験をする高校生

先日、東京で行われた選挙管理委員会の全国大会で気になるデータの発表がありました。

昨今、投票率が下がる中、親と一緒に投票所へ行き、投票する様子を見ていた子どもと、全く投票所へ行ったことがない子どもとは、成人になったときの投票率が、投票所へ行った経験をもつ人の方が21パーセント高いというデータでした。

これにヒントを得て、逆転の発想で子どもが親を選挙に連れて行くことはできないか。

例えば、いくら小さく畳んでも元通りになる投票用紙、計数器、漢字・平仮名・カタカナ・裏表を認識する読み取り分類機などの選挙機器を実務体験してもらおうなど、興味をもつよう工夫。子どもと一緒から投票に関心をもち、選挙は国民の権利であることを教え、子どもから親に選挙に行くよう促す社会になってほしいと思います。

（選挙管理委員会 委員長 横田浩一郎さん・泉）

地域課題の解決に心を寄せる20代から40代の若者18人が総社を知り、共に学ぶ「そうじゃ若者塾」が開講しました。

第1回は塾長である市長による講話と塾生のプレゼン。それぞれが思いをもって参加していることが伝わりました。第2回は井山宝福寺で小鍛冶住職の講話と座禅体験。講話の「文化とは人間が生きた後に残されていくもの」という言葉が印象的でした。地域を良くしようという一生涯懸命な塾生たち。



講話に聴き入る塾生

ちの姿に重なるものがあります。また、「目に見えて変わらない程度のスピードで変えていくこと」。少しずつでも確実に変化を起し、総社の新しい「文化」を生み出していくことがまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

その後の塾生懇親会で、自分自身の思いや考え、総社のまちづくりについて真剣に熱く若者が語り合う光景は心強く、きつと何か新しいものが生み出されると感じました。動き出したばかりのそうじゃ若者塾。今後にご期待ください。

（そうじゃ若者塾 塾生 福元紳之介さん・清音軽部）

消費生活 ワンポイントアドバイス

消費生活トラブル出前講座の案内

消費生活に関するトラブルを未然に防ぐため、地域に出向き、サロンや自治会、老人会など各種団体に出前講座を行っています。

悪質商法の手口を、寸劇やDVD、ゲーム、クイズなどで分かりやすく紹介。消費生活相談員が最新の相談事例、通信販売の注意点、クーリングオフなどについてお話しします。

出前講座の一例

「健康になるサプリメントがある」という電話が突然掛かってきて契約した場合、商品が届いた日から8日以内であればクーリングオフできるとの事例を紹介しました。電話が掛かってきた時点で商品が必要ないと感じたら、毅然とした態度で「契約しません」、「お断りします」、「電話を切ります」などと言って断るようアドバイスしました。



消費生活トラブルについて、寸劇などで分かりやすく伝えています

消費生活トラブル出前講座で、詐欺の手口や必要ない勧誘の上手な断り方などを学びましょう。

申込先・問い合わせ
総社市消費生活センター
（☎08527、交通政策課内）

そうじゃ特産商品シリーズ3点セットが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q 10月から水銀で環境が汚染されるのを防ぐために、「燃やせないごみ」としてごみステーションに出せなくなるものは●●●。

【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集室へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そうじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個をセットで贈ります。いただいた意見などは、担当課から連絡することがあります。

【応募期限】 10月2日（月）【7月号の答え】 KibiKibi

【7月号の当選者】 藤田由紀子さん（井尻野）、上野昌幸さん（福谷）
[応募総数 15件]

【応募先】 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所市政情報課 ☑ shisei@city.soja.okayama.jp



人口・世帯数（平成29年8月1日現在）

人口 68,354人（前月比±0人）
（うち外国人登録1059人 前月比-1人）
男 33,264人（前月比+16人）
女 35,090人（前月比-16人）
世帯数 26,802世帯（前月比+16世帯）

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 生涯学び
明るく家庭をきずきましょう。
- たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ